

・香椎地区シーブルー事業の概要

香椎地区シーブルー事業の概要

1. 事業及び調査の目的

博多湾は、福岡平野、海の中道、糸島半島に三方を囲まれ、湾中央部には能古島があり、東西に約20km、南北に約10km、総面積が約133km²の閉鎖性の高い内湾である。博多港は、この能古島を含む博多湾の東側に位置している。

博多港奥部の和白干潟を中心とする一帯は、エコパークゾーンとして自然と人の共生を目指した整備を進めている。

エコパークゾーンでは、博多湾らしさを生かし、自然環境の創造を図るとともに、地域の生活環境の向上に寄与する整備を行っており、海域では底泥の浚渫（作漚）、覆砂等による水底質の改善、海岸部では生物環境に配慮した石積護岸、養浜（砂浜の創造）、遊歩道等の整備を行っている。

本事業は、エコパークゾーンの御島ゾーン海域（以下「御島海域」という）における水質・底質の改善及び生物生息場の創出を目的に海域環境創造事業（シーブルー事業）による覆砂、作漚を実施するとともに効果把握の追跡調査を行ったものである。



図1-1 博多港とエコパークゾーン

【エコパークゾーン整備事業におけるシーブルー事業の位置づけ】

エコパークゾーン整備事業の内容

- ・ 海域：底泥の浚渫（作漚）、覆砂等の水底質の改善を図るシーブルー事業
- ・ 海岸：生物生息環境に配慮した石積護岸、養浜、遊歩道等の整備により快適な海岸の創出を図る海岸環境整備事業

なお、水底質の改善事業（シーブルー事業）は、御島ゾーン（御島海域）以外に和白干潟ゾーンにおいても計画に位置づけている。

2. 事業の概要

(1) 香椎地区シーブルー事業の経緯

シーブルー計画は、平成元年に国（旧運輸省）の「快適な海を創造するために、海域環境の改善と海域の利用を一体的に検討する調査・計画」として提案されたものであり、この計画を実現するための事業を「シーブルー事業（海域環境創造事業）」と定義している。

博多湾では、平成6年度に湾域全体の水環境の向上を目的として、博多湾海域と沿岸域を対象にした水・底質の改善等による港湾（海域）環境インフラ等の基本計画である「博多湾域シーブルー計画」を策定し、この計画の中で香椎地区における整備の考え方を示している（図1-3）。

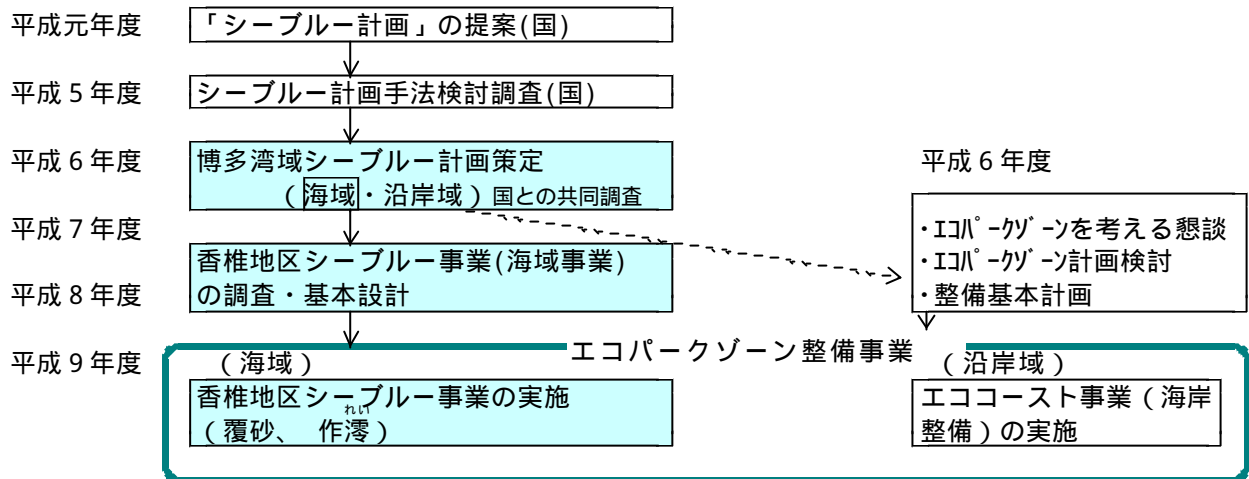


図1-2 香椎地区におけるシーブルー事業の流れ

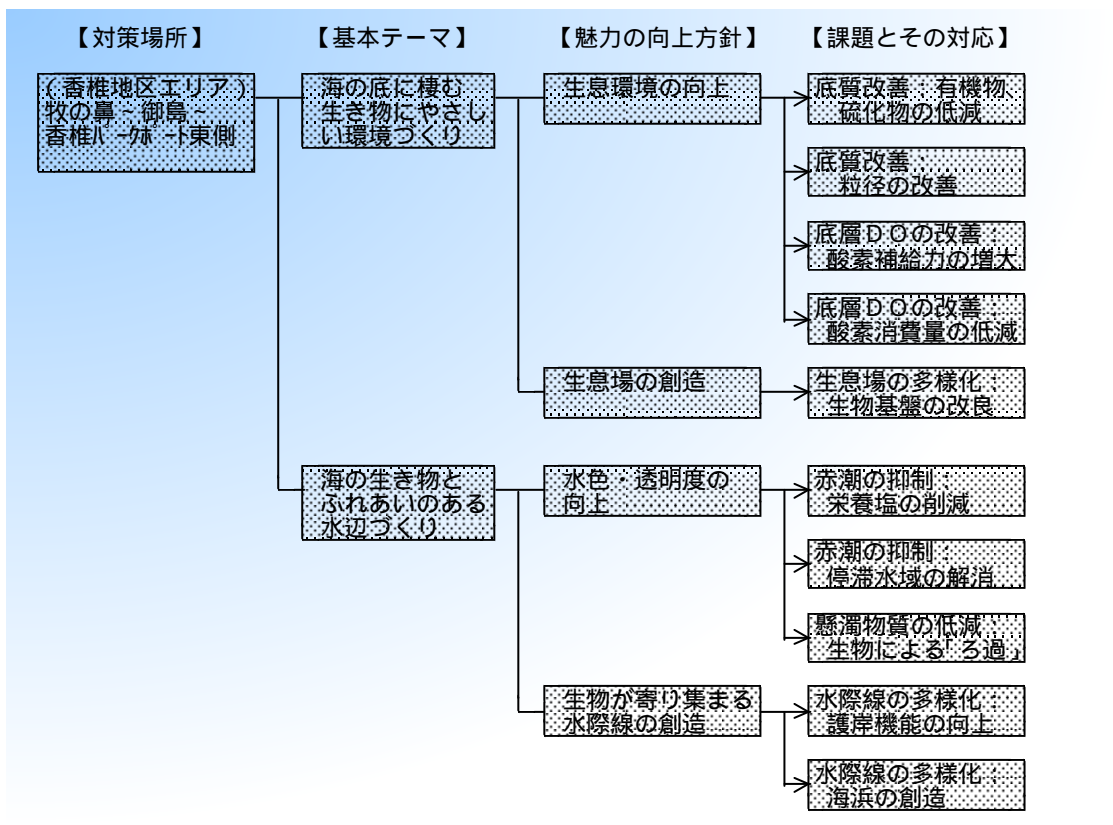


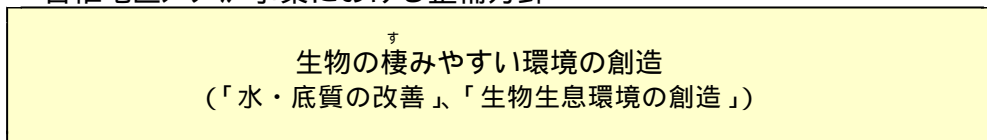
図1-3 博多湾域シーブルー計画（H6年度）における香椎地区エリアの整備の考え方

(2) 香椎地区シーブルー事業の適用技術選定

香椎地区（御島）は、水・底質の改善や生物の生息できる環境の創造が求められており、エコパークゾーン内でも早期の事業化を図る地区と位置づけている。

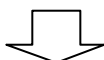
この地区の海域事業の基本テーマを「海の底に棲む生き物にやさしい環境づくり」とし、『生物の棲みやすい環境の創造（水底質の改善、生物生息環境の創造）』を整備方針と定め、その技術手法として香椎地区において効果のある覆砂、作漚を選定している。

< 香椎地区シーブルー事業における整備方針 >



< 博多湾域シーブルー計画における香椎地区の最適技術選定（H6年度） >

技術メニュー	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	最適技術	区分
浚渫、吐瀉											薄層浚渫	A. 底質改善 (有機物、硫化物の改善)
覆砂、埋立、固化処理											覆砂	B. 底質改善 (粒径の改善)
強制循環（成層破壊）												C. 海底DO改善 (酸素補給力の増大)
可倒堰、導流堤、ガチ構造物											可倒堰	D. 海底DO改善 (酸素消費量の低減)
外海水導入												E. 水際線の多様化 (生息基盤の造成・改良)
作漚、航路											作漚	F. 赤潮の抑制 (栄養塩の削減)
強制循環（成層破壊）												G. 赤潮の抑制 (停滞水面の解消)
強制曝気												H. 懸濁物質の低減 (生物によるろ過)
砂浜・干潟造成												I. 水際線の多様化 (護岸機能の向上)
環境共生型護岸											環境共生型護岸	J. 水際線の多様化 (海浜の創造)
浅場、磯場、岩場造成												
藻場、魚礁造成												
リビングフィルター												



< 香椎地区シーブルー事業の適用技術選定（H8年度） >

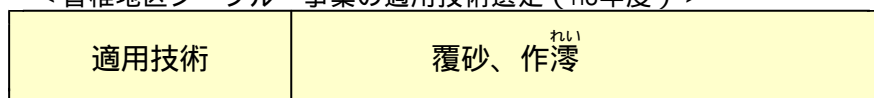


図1-4 香椎地区における覆砂、作漚の選定

なお、博多湾域シーブルー計画における香椎地区の海岸域は、エコパークゾーン整備事業の海岸環境整備事業（エココスト事業）として、生物生息環境に配慮した護岸（環境共生型護岸）等の整備を実施している。



御島ゾーン（片男佐）の海岸（整備前 H9年）



同左（整備後 H11年）

(3) 香椎地区（御島）シーブルー事業のスケジュール

覆砂、作漕^{れい}の工事、効果把握の環境調査の実施時期、施工位置は表1-1，図1-5,6に示すとおりである。

表1-1 香椎地区（御島）シーブルー事業の実施時期

年次		8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度
覆砂	工事		■	■	■				
	環境調査	-	-	-	-	-	-	-	-
作漕 ^{れい}	工事			■		■	■		
	環境調査	-			-		-	-	



図1-5 施工区と周辺の位置関係

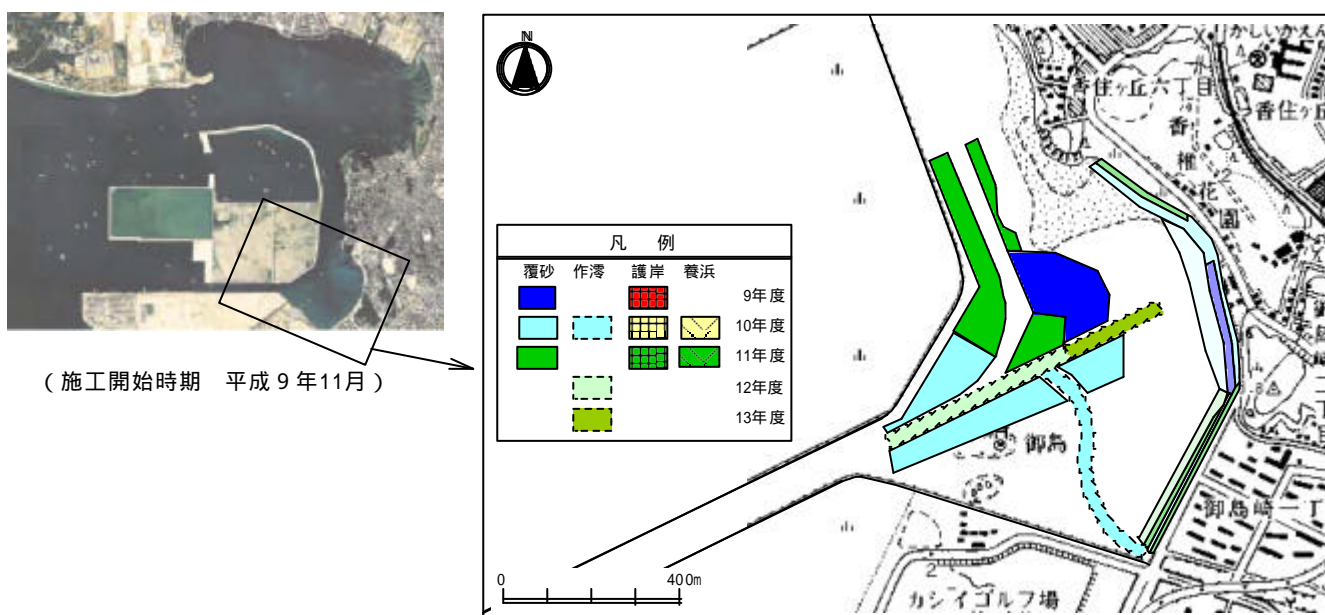


図1-6 香椎地区（御島）における覆砂、作漕^{れい}の施工箇所